

R5 井伊谷小学校 学校評価

	取組内容	質問項目	特定のな 回答%	児童 365人				特定のな 回答%	保護者 190人				達成率(A 90%以上 B 80% C 70% 以下)	今年度の取組と課題	今後の取組	学校関係者評価	
				そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない					
認め合 う子	さわやかに挨拶が できる子	○さわやかなあいさつをクリエイトする取り組み	1 お子さんは、自分から挨拶を することができてきている。	85.7	50.4%	35.3%	10.7%	3.6%	77.9	24.2%	53.7%	18.9%	3.2%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校職員の呼び掛け、児童会の取組で、あいさつ集会でよい挨拶を呼び掛け、挨拶運動や放送などにより挨拶を紹介し、自分から挨拶する機会を高めてきた。 ・挨拶の意識に個人差があることが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校職員の呼び掛け、児童会の取組、あいさつ集会での呼び掛け、挨拶運動を継続していく。 ・「キラキラカード」がマンネリ化していることはない。苦手なことに気持ちが行って行かないように、自己肯定感を高めてゆけるものはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学校運営協議会委員の意見】 ○児童の自己肯定感について ・「キラキラカード」(よい所見つけ)は本人だけでなく、幅広く他の子の視点も紹介していただくことよ。 ・「キラキラカード」がマンネリ化していることはない。苦手なことに気持ちが行って行かないように、自己肯定感を高めてゆけるものはないか。
				183人	128人	39人	13人	46人	102人	36人	6人						
	友達と仲良くできる子	○居場所のある学級づくり	2 お子さんは、友達と仲良く過 ごすことができてきている。	95.6	79.7	15.9	3	1.4	95.8	48.4	47.4	3.7	0.5	A	<ul style="list-style-type: none"> ・居心地の良い学級づくりを進めている。いじめアンケートの結果や、日々の児童の様子から話を聴いたり、困ることがあれば、解決に向けて学校体制で対応している。 ・いじめに関する情報を全職員で共有することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関する校内研修を年度当初に計画して、位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読書について ・読書の肯定的回答が低い。 ・ICTと読書を関連させるには、両方のバランスが大切である。 ・読解力は算数でも必要であり、本に親しむことは発想を膨らませるうえでも必要である。 ・読み聞かせだけでなく、自分で本を手元に置いて読むことも大切である。
				290	58	11	5	92	90	7	1						
		○人権意識を育み、「いじめ」の起こらない集団づくり	3 お子さんは、自分や友達のよ いところ、頑張っていること を見付けることができてい る。	65.3	27.7	37.6	26.4	8.2	92.5	31.7	60.8	7.4	0	B	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の良さや頑張りをキラキラカードに書いて送る取り組みを続けている。また、帰りの会や昼の放送時にも友達の良さを紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キラキラカードの取組を教員が推進づけし、自分を取り組んでいることに自覚と自信を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学校関係者評価を受けて】 ○児童の自己肯定感について ・全国学力学習状況調査等の結果から、本校は自己肯定感が低い傾向にあり、「キラキラカード」の効果は出ている。今後も継続していく。
				101	137	96	30	60	115	14	0						
○考え議論する道徳の充実	4 家庭で、命の尊さや、いじめ はしてはいけないことにつ いて話している。	98.9	78.5	20.4	0.6	0.6	99.5	54.5	45	0.5	0	A	<ul style="list-style-type: none"> ・4月PTA理事会・PTA総会で保護者へ説明したが、浸透は十分ではない。 ・6月の学校運営協議会で説明した。 ・インターネットによるトラブルやいじめは、12月まで4件。携帯電話の所持率が不明であるが、本校は高いという印象があるため、教員の指導力が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針を、今年度同様児童、保護者、地域住民に説明し、浸透を図る。 ・いじめ防止規程については、児童の目に触れる場所へ掲示し、家庭・地域への周知も図る。 ・情報モラル講座を懇話会後に親子で受講できるよう計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読書について ・授業で学んだことと組み合わせ読書をしていけるよう指導を工夫していく。 ・朝読書は今後も継続していく。 		
		285	74	2	2	103	85	1	0								
一生懸命掃除が できる子	○黙って移動、黙って掃除の徹底																
学び合 う子	しっかりと聴ける子	○主体的に、自分の思いや考えを自分の言葉で伝え合う 授業(活動)の展開	5 お子さんは、自分の考えを伝 えたり、話し合っ て考えを深めたり することができてきて いる。	87.4	47.3	40.1	10.7	1.9	80.5	20.5	60	18.9	0.5	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、ペアやグループ、クラス全体で意見交換をする場を意図的に設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えの良さや、自分との相違点を認めながら、自分の考えを深める学習を積み重ねていく。 	
				172	146	39	7	39	114	36	1						
	はっきりと話す子	○個別最適化を目指す学習指導	6 お子さんは、ICTの活用に興 味をもつことができてきて いる。	91.8	70.6	21.2	6.6	1.6	94.7	56.1	38.6	5.3	0	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、授業の中で、個人用タブレットを利用して意見交換や情報共有、調べ学習、プレゼンテーション作成などを行っている。 ・インターネットでとまらず、アウトプットツールの活用が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習でもタブレットでの学習ができるよう、ドリルパークの使いやすさ、可能性を研究し、計画的に3年生以上で取り組みを広げていく。 	
				257	77	24	6	106	73	10	0						
	○地域・社会と「ひと・もの・こと」で関わる活動の充 実	7 外部講師の方々から教えて いただくことは、学習や活動に 効果的だと思う	89.3	56.2	33.1	9.4	1.4	96.9	67.4	29.5	3.2	0	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、教科の学習内容に応じて、適切な時期に適切な講師の先生をお呼びして学習を深めてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材リストをより活用しやすいように整理する。 		
			204	120	34	5	128	56	6	0							
○本好きの子の育成(朝読書・読み聞かせの実施)	8 お子さんは、進んで本を読む ようになってきている。	75.5	46.8	28.7	16.3	8.3	63.5	29.1	34.4	28	8.5	B	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を設定し、本と向き合う時間を大切にしている。また、おすすめの本を学校文庫に置いたり、図書室で紹介したりして、いろんなジャンルの本にふれることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任による読み聞かせ、借りる時間を確保する、並行読書を推進するなど学年に応じて本にふれる機会をつくる取り組みを継続させていく。 			
		170	104	59	30	55	65	53	16								
きたえ 合う子	運動好きな子	○自分の目標にチャレンジする部活動	9 お子さんは、「なりたい自 分」や目の前の目標をもつこ とができる。きて いる。	87.3	52.6	34.7	8.8	3.9	75.8	20.5	55.3	23.2	1.1	A	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢を提示し、意識を高めるとともに、一つ一つの活動にめあてを持って取り組ませ、振り返りをして次の活動につなげる取り組みを積み重ねている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の提示とともに、夢の達成のために、今自分ができることは何かを考えさせ、実行に導く。 	
				191	126	32	14	39	105	44	2						
	○運動の習慣化や健康科学の視点による健康リテラシー の育成	9 お子さんは、運動や外遊びに 進んで取り組むことができて きている。	79.6	55.6	24	15.4	5	81.5	38.6	42.9	14.8	3.7	A	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜の朝に「朝ストレッチ」の時間を設定し、進のスタートに自分の体と心に向き合う時間としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の心と体に向き合い、良い機会となっているため、継続していく。 		
			202	87	56	18	73	81	28	7							
好き嫌いなく食 べる子	○早寝早起き朝ご飯、残食0を目指す食育指導																
安全に気を付けた 生活ができる子	○安全教育(防災・防犯)の推進(交通事故0)	10 お子さんは、安全に気を付 けて生活できている。	95.9	67.3	28.6	3.3	0.8	95.8	41.3	54.5	3.7	0.5	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、避難袋体験(高学年)、防犯教室、交通安全教室、情報モラル講座など、「生活安全」「交通安全」「災害安全」に向けて取り組んできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル講座を懇話会後に親子で受講できるよう計画する。 		
245	104		12	3	78	103	7	1									